

■流動資産に関する仕訳 ヒント

1. 満期をむかえた定期預金について1年分の受取利息（収益）が発生しており、そのうち20%の金額の源泉所得税は仮払法人税等（資産）として処理する。
2. 所持している手形の代金が期日に支払われなかったときは、受取手形（資産）を減少させ、不渡手形（資産）を増加させる。
3. 割り引いていた手形の代金が期日に支払われなかったときは、償還請求にともない支払った金額の総額をもって不渡手形（資産）を増加させる。
4. 以前に不渡手形として処理していた手形代金について処理が確定したときは、不渡手形（資産）を減少させ、回収不能額は貸倒引当金（評価）を減少させる。
5. 所持している手形を裏書譲渡したときは、受取手形（資産）を減少させる。
6. 所持している手形を割り引いたときは、受取手形（資産）を減少させ、割引料は手形売却損（費用）として処理する。
7. 所持している手形の支払期日を更改したときは、旧支払期日の受取手形（資産）を減少させ、新支払期日の受取手形（資産）を増加させる。
8. 支払期日延長にともなう利息について受取利息（収益）として処理する。また、決算整理にて次期に属する3か月分の利息は前受利息（負債）として処理する。
9. 電子記録に係る債権が生じたときは、電子記録債権（資産）を増加させる。
10. 電子記録債権の譲渡記録を行ったときは、電子記録債権（資産）を減少させる。
11. 電子記録債権を割り引いたときは、電子記録債権（資産）を減少させ、割引料は電子記録債権売却損（費用）として処理する。
12. 売掛金を譲渡したときは、売掛金（資産）を減少させ、債権金額と譲渡金額との差額は債権売却損（費用）として処理する。

13. クレジット払いの条件で販売したときは、販売代金から手数料を差し引いた手取額をもってクレジット売掛金（資産）を増加させる。
14. 以前にクレジット売掛金として処理していた代金について振り込まれたときは、クレジット売掛金（資産）を減少させる。
15. 期末において貸倒引当金を個別設定するときは、問題文の指示に従い、回収不能額をもって貸倒引当金（評価）残高となるように処理する。
16. 期末において貸倒引当金を一括設定するときは、問題文の指示に従い、回収不能額をもって貸倒引当金（評価）残高となるように処理する。
17. 売買目的の有価証券を購入したときは、取得原価をもって売買目的有価証券（資産）を増加させる。なお、購入時に支払う端数利息は有価証券利息（収益）の借方に記入する。
18. 売買目的の有価証券を売却したときは、帳簿価額をもって売買目的有価証券（資産）を減少させる。なお、売却時に受け取る端数利息は有価証券利息（収益）の貸方に記入する。
19. 売買目的の有価証券を売却したときは、帳簿価額をもって売買目的有価証券（資産）を減少させる。なお、帳簿価額について問題の指示により移動平均法にて算定する。
20. 売買目的の有価証券を売却したときは、帳簿価額をもって売買目的有価証券（資産）を減少させる。なお、帳簿価額について問題の指示により切放法を採用している点に留意して算定する。
21. 固定資産である土地を売却したときは、帳簿価額をもって土地（資産）を減少させる。なお、売却代金について手形を受け取っているが、商品以外の資産の売却であるため、営業外受取手形（資産）を増加させる。
22. 商品以外の代金である未収入金について電子記録に係る債権が生じたときは、営業外電子記録債権（資産）を増加させる。

■流動資産に関する仕訳 基本仕訳

●手形

①所持している約束手形が不渡りとなった。

(借)	不	渡	手	形	×	×	×	(貸)	受	取	手	形	×	×	×
-----	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

②裏書譲渡・割引した約束手形が不渡りとなった。

(借)	不	渡	手	形	×	×	×	(貸)	現	金	な	ど	×	×	×
-----	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

③所持している約束手形を裏書譲渡した。

(借)	買	掛	金	な	ど	×	×	×	(貸)	受	取	手	形	×	×	×
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

④所持している約束手形を割り引いた。

(借)	当	座	預	金	×	×	×	(貸)	受	取	手	形	×	×	×
	手	形	売	却	損	×	×	×							

⑤所持している約束手形の支払期日の延期を承諾して、利息を含め、新たに手形を受け取った。

(借)	受	取	手	形	×	×	×	(貸)	受	取	手	形	×	×	×
									受	取	利	息	×	×	×

⑥主たる営業取引以外の取引に対して、約束手形を受け取った。

(借)	営	業	外	受	取	手	形	×	×	×	(貸)	備	品	な	ど	×	×	×
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---

●電子記録債権

①売掛金について、取引銀行を通じて発生記録の請求を行い、電子記録に係る債権が生じた。

(借)	電	子	記	録	債	権	×	×	×	(貸)	売	掛	金	×	×	×
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---

②掛代金支払いのため、電子記録債権を譲渡した。

(借)	買	掛	金	×	×	×	(貸)	電	子	記	録	債	権	×	×	×
-----	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

③電子記録債権を割り引いた。

(借)	当	座	預	金	×	×	×	(貸)	電	子	記	録	債	権	×	×	×
	電	子	記	録	債	権	売	却	損	×	×	×					

④売掛金を当座預金と引き換えに譲渡した。

(借) 当座預金	×××	(貸) 売掛金	×××
債権売却損	×××		

⑤主たる営業取引以外の取引に対して、電子記録に係る債権が生じた。

(借) 営業外電子記録債権	×××	(貸) 未収入金など	×××
---------------	-----	------------	-----

●クレジット売掛金

①商品をクレジット払いの条件で販売した。

(借) クレジット売掛金	×××	(貸) 売上	×××
支払手数料	×××		

②信販会社から手数料を差し引いた販売代金が当座預金口座に振り込まれた。

(借) 当座預金	×××	(貸) クレジット売掛金	×××
----------	-----	--------------	-----

●有価証券

①売買目的で社債を購入し、あわせて端数利息を支払った。

(借) 売買目的有価証券	×××	(貸) 現金など	×××
有価証券利息	×××		

②売買目的の社債を売却し、売却代金とあわせて端数利息を受け取った。(売却益の場合)

(借) 現金など	×××	(貸) 売買目的有価証券	×××
		有価証券利息	×××
		有価証券売却益	×××

勘定科目まとめ

資産	当座預金 受取手形 不渡手形 売掛金 クレジット売掛金 電子記録債権 営業外電子記録債権 売買目的有価証券
負債	買掛金
収益	受取利息

	有価証券利息 有価証券売却益
費用	支払手数料 手形売却損
費用	電子記録債権売却損 債権売却損